

岡山県支部

コミュニティビジネス事業者・創業予定者のためのチェックリスト調査研究

本報告書は、社団法人中小企業診断協会岡山県支部コミュニティビジネス研究会が、これまでの調査研究をもとにコミュニティビジネス事業者、創業（予定）者が実際に活用できるチェックリストを開発したものを報告するものである。チェックリストは、他の調査等でも作成されているが、本報告書は簡易診断ツールとして活用できるほか、チェックリストの結果をもとに当研究会がフォローアップする体制をとっていることに特徴がある。

本報告書の要約は、以下のとおりである。

第1章 コミュニティビジネスとは

まずコミュニティビジネスについて述べている。コミュニティビジネスについては、各支援機関等が定義ないし活用内容についての説明をしているが、本報告書では各支援機関等の資料を参考にしながら独自の定義づけを行った。その後、コミュニティビジネスが注目されるようになった背景、活動分野、取り組みの割合、地域に与える影響、ビジネス・コミュニティビジネス・ボランティアの違い、にぎわいビジネス、コミュニティビジネスの課題について報告している。報告に当たっては、主に中小企業白書 2004 年版、同 2006 年版を参考とし、加えて当研究会の視察等による事業者のヒアリング結果からの記述となっている。

第2章 コミュニティビジネス研究会について

平成 17 年 6 月に発足し、現在に至る当研究会の活動について紹介している。当研究会は、地域の細やかなニーズをとらえたビジネスや農業系のビジネスの可能性についての研究を目的とし、平成 17 年度は具体的な研究テーマの絞りこみのための視察を中心に、平成 18 年度は「農業チーム」「中間支援組織&支援ツールチーム」の2つの分科会を設置し研究のさらなる深堀を行っている。本報告書は「中間支援組織&支援ツールチーム」における調査研究の成果である。

第3章 コミュニティビジネスの活動について（視察報告）

当研究会では、岡山県下のコミュニティビジネス事業者を視察・ヒアリングを実施している。今回視察内容を報告するのは、NPO法人ふれあいサポートちゃていず（子育て支援）、NPO法人たいむ・カプセル（介護：富山型デイサービス）、有限会社アリストぬまくま（自由市場）、有限会社百島農園（農業：いちご生産・販売）、NPO法人コミュニティサポートセンター神戸（中間支援）、NPO法人かさおかふるさ島づくり海社（まちづくり）である。各事業所について概要、活動内容、課題、提言を盛り込んでいる。

※ （ ）は主な活動内容

第4章 チェックリストの活用スキーム

チェックリストを事業者・創業者に活用いただくに当たって活用スキームを示した。流れとしては自らでチェック→当研究会に郵送・FAX→アドバイス・コンサルティング→経営革新・創業となっている。

第5章 チェックリスト・自己診断票

コミュニティビジネス事業者および創業（予定）者向けのチェックリスト・自己診断票をそれぞれ作成した。コミュニティ（地域活動・ボランティア活動など）とビジネスの両面からチェックする項目を用意している。

項目1：あなたの事業にかける思いや情熱については、事業者と創業（予定）者のモチベーションの高さと、周りの共感についてを挙げている。項目2：事業の地域でのニーズや地域資源の把握については、コミュニティビジネスの定義にも見られる地域課題やニーズを把握や課題解決のためのパートナーについてあげている。項目1・項目2が特にコミュニティビジネスのコミュニティ部分についてのチェックとなっている。項目3：あなたの事業の経営について（その1：「人材面」）では、経営の意思決定、従業員満足、人材確保、技能取得についてあげている。項目4：あなたの事業の経営について（その2：「提供する商品・サービス」）では、強みの把握、改善ポイントについてあげている。項目5：あなたの経営について（その3：「収入・資金調達」）では、法人格、会計書類の整備、収益の確保・確保の方法についてあげている。

チェックリストの活動の後に、自己診断票で項目ごとの状況や課題を自己分析できるようになっている。事業者と創業（予定）者では、チェック内容は異なるが項目立ては同様の形式としている。

第6章 岡山県下のコミュニティビジネス支援先、支援施策一覧

事業者や創業（予定）者が相談できる支援先や、活用できる支援施策について紹介している。

第7章 チェックリストの事前送付結果

本チェックリストを事前送付した結果を紹介している。